

平成28年度 第1学年 授業改善プラン

教科	観 点	課 題	指導の視点	具体的な手立て・改善策
国語	国語への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・話を最後まで聞けないことがある。 ・文の中で促音や「は」「を」「へ」などの助詞を正しく使うことが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話の聞き方の定着を図る。 ・ひらがなの正しい表記や使い方を定着させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要なことを聞き取る練習をする。また、話を聞くめあてを明示し定着を図っていく。 ・ひらがなの復習を適宜行い、家庭学習も含めて日常的に個別指導をしていく。
	話す・聞く能力			
	書く能力			
	読む能力			
	言語についての知識・理解・技能			
	全国学力調査、児童・生徒の学力向上を図るための調査結果を受けて		<ul style="list-style-type: none"> ・主語と述語が対応した文を書く。 ・書かれている内容をしっかりと捉え、場面の様子を理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日記や手紙文などで文章を書く機会を増やし、定着を図っていく。 ・いろいろな読み物を読むことで語彙を増やし、内容を捉えられるようにしていく。
算数	算数への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・具体物を用いないで計算することが苦手な児童がいる。 ・2とび、5とびの穴あき問題が苦手な児童がいる。 ・文章問題からの立式が苦手な児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数のまとまりを意識させ計算力の定着を図る。(10といくつ) ・数の大小や系列が理解できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝学習、授業の導入時間、家庭学習を利用して反復練習をして、数の大小や系列の理解、計算力の向上を図る。 ・繰り上がりのあるたし算や繰り下りのあるひき算、大きい数の学習では、既習事項である10のまとまりを関連付けながら授業を展開する。
	数学的な考え方			
	数量や図形についての技能			
	数量や図形についての知識・理解			
	全国学力調査、児童・生徒の学力向上を図るための調査結果を受けて		<ul style="list-style-type: none"> ・文章問題から絵や図に表わし、それから立式ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・式の意味を理解させるために、お話づくり、問題づくりや具体物を用いた活動を取り入れる。
生活	生活への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・生活体験に差が大きく、気付きの質に影響している。 ・活動は楽しく行いが、そこからの気付きに発展しづらい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな活動体験を取り入れる。 ・気付きを引き出すような発問の工夫をしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・栽培や創作活動の時間を多く取り入れた授業をしていく。 ・観察する視点を示す。観察したことをカードに記録し、発見カード集を作る。
	活動や体験についての思考・表現			
	身近な環境や自分についての気付き			
音楽	音楽への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・元気に歌うことはできるが、歌声や音色に気を付けて演奏することが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歌声や発音に注意させて歌わせる。 ・スモールステップで鍵盤ハーモニカの基本的な奏法を覚え、やさしい曲が吹けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身体表現をして楽しく音楽にかかわらせる。 ・教師や友達の歌や演奏を聴き、自分の歌声や楽器の奏法に気を付けるようにする。
	音楽表現の創意工夫			
	音楽表現の技能			
	鑑賞の能力			
図画工作	造形への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・色の塗り方や、はさみやのりの使い方の個人差が大きい。 ・他の作品のよさに気付かず、自分中心になってしまうことがある。 ・大きく表わすことが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道具の使い方の基本的なことを指導していく。 ・作品を見て何を表したかったのかを考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な道具の使い方をしっかりと指導し、指や手をたくさん動かす時間をとる。 ・授業の中で、形や色、表し方の面白さに気付くように友達の作品を鑑賞させる。 ・見本を実際にみせる。 ・めあてから自分でイメージし、試す時間を取る。
	発想や構想の能力			
	創造的な技能			
	鑑賞の能力			
体育	運動や健康・安全への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・発達段階や運動経験による技能的な個人差が大きい。 ・自分の活動のみで周りの動きを見れていない児童がいる。 ・順番やきまりを守れない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しく体を動かし、体の基本的な動きができるようにする。 ・友達のよい動きを見付け、楽しく運動することができるようにする。 ・きまりを守って仲良く運動できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スモールステップで学習過程を進め、場の設定や動きのポイントの掲示、個別の指導などを工夫する。 ・動きのポイントを掲示したり、友達の良い動きを見つけたりする場を設定し、自分の動きに生かせるようにしていく。 ・きまりをはっきりさせて仲良く遊ぶための工夫を考えさせる。
	運動や健康・安全についての思考・判断			
	運動の技能			
	健康・安全についての知識・理解			